

事前準備

- ・防災知識を得る機会をつくりたい
- ・潮江の3小学校区が避難して集まれる場所を作りたい
- ・近所の要支援者を把握する
- ・避難先となる山を整備したい（本格的な整備でなくても、ハイキングコースにするだけでも避難路となる）
- ・避難所運営マニュアルをより地域に則したものにしたい
- ・地域の方々がそれぞれどこに避難するかを把握しておきたい
- ・ブロック塀の倒壊対策を行いたい
- ・日々運動をし、健康でいることが重要である



共助力を高める

- ・防災に子どもを巻き込み、地域と子どもを繋いでいきたい
- ・防災イベントを通じて、人の繋がりを作りたい
- ・町内の放送施設を活用し、地域全体に情報を伝えたい
- ・今ある地域活動を充実させたい
- ・自主防災組織の活動促進
- ・区民運動会の仕組みを応用し、避難所でも町内ごとに色分けして同じ町内の人を識別できるようにしたい。



復興

- ・地籍調査を行う
- ・空き家問題を解決させたい



事前復興まちづくり計画ワークショップを通して感じたことなど

●感想

- ・復興について考えることの大切さを学ぶことができた
- ・自分の地元をより知ることができた
- ・自然、歴史の良さを再確認できた
- ・この計画が作られていることに驚いた
- ・被災前と後の区別が難しい
- ・コミュニティの維持が重要だと思った



●今後の取り組みについて

- ・もっと多くの世代の方に周知をしていく必要がある
- ・子育ての現状を伝える場を設け、地域全体で子育てを考えていきたい
- ・計画策定後も地域で継承していきたい
- ・まちづくりに学生を巻き込んでいきたい
- ・地域の集まりへの参加者を増やしたい
- ・社会情勢や地形の変化で計画の改定が必要である



●お知らせ

「地区別事前復興まちづくり計画（潮江地区）」の計画書が作成できましたらホームページ上に掲載させていただきます。

過去のワークショップニュースもホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

●お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課
事前復興まちづくり担当
TEL : 088-823-9055
FAX : 088-823-9085
Mail : kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.3

R 8. 7. 15

6月14日（日）、潮江南小学校で、潮江地区事前復興まちづくり計画第3回ワークショップ（潮江南小学校区）を開催しました。意見交換3では、今までの地域の方の意見を反映した「最終復興ビジョン」、「最終復興パターン」についての意見交換を行い、ワーク5では「災害が起きる前からできること」について、みんなで話し合いました。



潮江地区

事前復興まちづくり計画 第3回ワークショップ （潮江南小学校区）を 開催しました！

地域の方
17名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ
意見交換3は2、3ページ、ワーク5は4ページです

※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの進め方・内容



第1回 R7.11.9開催

ワーク1 潮江の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること

ワーク2 復興パターン2案について



第2回 R8.2.7開催

ワーク3 楽しくなるような未来のまちを想像する

意見交換1 復興ビジョンについて

意見交換2 修正復興パターンについて

ワーク4 速やかに復興するために必要なこと



第3回 R8.6.14開催

意見交換3 最終復興ビジョン、最終復興パターンについて

ワーク5 災害が起きる前からできること



決定！ 潮江地区 地区の目指すべき姿＝ビジョン

『絆を深め助け合い 暮らしやすさと安心を未来へ』

ワークショップでは、「いざという時に助け合える人のつながり（絆）こそが、復興には欠かせない」という熱い思いが多く寄せられました。また、身近な山々が「憩いの場」とであると同時に、「命を守る避難所」でもあるという潮江ならではの強みも再確認できました。

ビジョンには、今の便利で豊かな暮らし（自然と利便性）を守りながら、住民同士が手を取り合う（共助）ことで、次の世代へ「安心な潮江」をしっかりと引き継いでいくという強い決意を込めました。

【決定の経緯】

ワークショップ等で約7割（67％）の支持を得た案2をベースに、「人のつながり（絆・共助）」を復興の最も大切な柱とし、これに加えて、1案で評価が高かった「交通の利便性」と、3案で大切にしたいとされた「筆山・高見山の豊かな自然」の両方を、潮江の誇りとしてビジョンの構成要素に取り入れ、前向きな「安心」や「未来」という言葉を選ぶことで、子どもたちも覚えやすく、明るい希望が持てるスローガンとしました。

前回お示した地区の目指すべき姿＝ビジョン

- | | | |
|----|-------------------|---|
| 案1 | 第1回ワークショップにて提示 | 『つながる安心 自然と共に生きるまち』 |
| 案2 | 「防災」と「コミュニティ」を主軸 | 『深まる絆 災害にも強く、安心な暮らしを未来へつなぐまち 潮江』 |
| 案3 | 「自然」、「都市」、「歴史」を主軸 | 『自然と都市が調和し、歴史の魅力に溢れたまち
～山・川・海と共に歩む潮江～』 |

皆さまから出た意見

いいね！

- ・この復興ビジョンでいいと思う

「絆を深め」の表現について

- ・復興の際には、地域のつながりなどの共助力が重要であるため、特に良いと思う



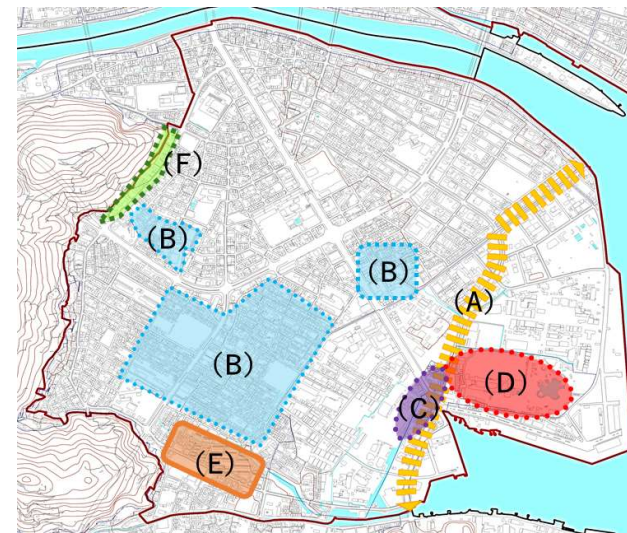
皆様と歩む、これからの未来

事前復興まちづくり計画の核となるビジョンにつきまして、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまの地域を想う熱い想いを踏まえ、検討を重ねました結果、本案『絆を深め助け合い 暮らしやすさと安心を未来へ』を最終的なビジョンといたしました。

このビジョンは、災害時に地域の復興を導く、私たちの指針として大切に受け継いでまいります。

(最終案)二線堤形成案

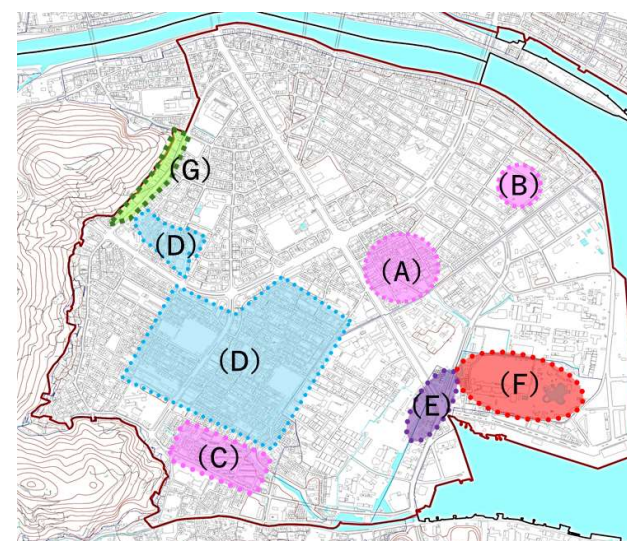


- (A) 二線堤
- (B) 土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (C) 建築制限による誘導
1階部分の非居住化
- (D) にぎわい形成
にぎわい施設の立地誘導
- (E) 市営住宅有効利用
空き室の利用を検討する
- (F) 土砂災害対策

「二線堤形成案」に対する意見

- ・二線堤によって街全体が守られるのが良い
- ・二線堤外ににぎわい形成エリアを整備するのは大丈夫なのか
- ・二線堤によって地域が分断する恐れがある

(最終案)防災拠点形成案



- (A) 防災拠点+高上げ（賑わい+居住）
共同化、再開発事業による高層化
- (B) 防災拠点（萩公園：高台整備）
津波避難機能の整備
- (C) 防災拠点（市営住宅有効利用）
空き室の利用を検討する
- (D) 高上げ+土地区画整理事業
道路基盤整備検討
- (E) 建築制限による誘導
1階部分の非居住化
- (F) にぎわい形成
にぎわい施設の立地誘導
- (G) 土砂災害対策

「防災拠点形成案」に対する意見

- ・高上げをする際、雨水対策を行う必要がある

共通意見・その他意見

- ・第1案と第2案の良いところを組み合わせた案はどうか
- ・現時点での案であり、今後も検討し続けることを周知してほしい
- ・建築制限をかけるエリアがあることを周知してほしい
- ・建築制限をかけるエリアの方の意見をより聴取すべきである
- ・復興パターンに直接関係する当事者に意見を十分に聞くことが重要である
- ・道路を拡げると交通量が増えて歩行者の危険や不便になることが想定される
- ・区画整理事業を行うことは避難の際にも有効である
- ・液状化対策も必要である
- ・仮に移転をする場合、移転先の土地がないため、差込移転となるのではないかと

